

第 17 回米中合同商業貿易委員会 (JCCT) の結果概要
～ 知的財産関連事項 ～

2006 年 4 月 12 日
JETRO NY 澤井、中山

4 月 11 日、ワシントンDCにおいて、第 17 回米中合同商業貿易委員会 (JCCT)¹が開催され、米国側からはグティエレス商務長官、ポートマン USTR 代表、ジョンズ農務長官が出席、中国側からは呉儀副首相が出席した。

今般開催された会合の成果として、米国は、米国企業の市場アクセスの増大、知的財産権保護の改善、市場志向型の政府調達制度への移行という 3 つの分野に対し、中国側がこれをコミットしたと歓迎した。²

特に、知的財産関連については、「知的財産権と市場アクセスを含むいくつかの分野の重要な問題について明確な前進があった」とのグ商務長官の言葉を引用しこれを評価。商務省は、その具体的な改善点として、全てのコンピュータに対し正規 OS をプレインストールする規則の公布、海賊版光ディスク製造工場の閉鎖という中国側の取り組みを挙げた。³

今次会合における知的財産の合意事項を見るに、これまで以上に著作権に関する内容が具体的かつ大きなウエートを占めるものとなっているものの、その原文においては、現在完了形が多用されるなど、これまでの実績を確認する記載ぶりである。換言すれば、今般の委員会では新たなコミットメントは見当たらないとの印象である。

知的財産に関する合意事項は以下の通り。

¹米中間の通商問題を議論する年 1 回開催の閣僚級会合。米国側は通商問題の特定・解決並びに通商機会の拡大の場として利用。1983 年に設置され 2004 年から閣僚級に格上げされている。

²商務省プレスリリース

http://www.commerce.gov/opa/press/Secretary_Gutierrez/2006_Releases/April/11_US-Welcomes_China_Action_KeyTradeIssues.htm

USTR プレスリリース (商務省のプレスリリースと同一内容)

http://www.ustr.gov/Document_Library/Press_Releases/2006/April/United_States_Welcomes_Chinese_Action_on_Key_Trade_Issues_printer.html

³グティエレス商務長官スピーチ

http://www.commerce.gov/opa/press/Secretary_Gutierrez/2006_Releases/April/11_Gutierrez_JCCT_Statement.htm

知的財産権のエンフォースメントの改善

IPR 侵害のレベルを大幅に減少させるために、中国政府は以下の行動 (specific action) を合意 (agree)。

- ・ 海賊版光ディスク 中国政府は不法光ディスクを製造している 14 工場に所要の措置を講じ、映画、音楽、ソフトウェアの著作権侵害に対するエンフォースメント強化を実施。引き続き米中両国は当該分野における協力強化を探る。
- ・ 正規のソフトウェアインストール要件 中国政府は国内のすべてのコンピュータに正規のOSソフトがプレインストールされることを要件化。これにともない中国コンピュータメーカーは米国OSの購入契約を締結しているところ。
- ・ 政府及び企業による正規ソフトウェア使用の確保 中国政府機関に正規ソフトウェアを使用させる取り組みに加え、対象範囲を中国企業へ拡大することに着手。また、JCCTのIPRワーキンググループにおいて政府及び企業のソフトウェア資産管理について議論することに同意。
- ・ 模倣品を市場から除去 中国政府は模倣品を市場から除去する取り組みを強化することに同意し、主要都市におけるエンフォースメントアクションを公表。
- ・ 個別ケース 米国政府により取り上げられた個別ケースに対し、中国政府は、これを積極的に追求することに同意。
- ・ 行動計画 中国政府は、法律の制定、啓発活動を含め、知的財産のエンフォースメントを改善するために、幅広い行動計画を策定すると発表。

< JCCT 合意事項 >

http://www.ustr.gov/assets/Document_Library/Fact_Sheets/2006/asset_upload_file91_9286.pdf

(了)